

2017年 あじさいまつり俳句優秀作品 榎本 達 選

特選

暮るる日の恋あきらめし四葩かな 調布市 楠本 美穂

評 あきらめた恋もあつたなあと、夕暮近くの紫陽花を見て、
作者の心にかつての感情が蘇ってきました。

子蜥蜴の瑠璃翻へし失せにけり 府中市 山田 昭子

評 子とかが瑠璃色を翻して身を隠しました。印象鮮明な句に
なりました。

額咲いて古き校舎の窓青む 川崎市 藤原 幸子

評 窓辺の額紫陽花が咲き、古い校舎の窓も青みを帯びました。
古い校舎が詩情を醸します。

あぢさゐよ輝きみせる君が好き 調布市 上村 良子

評 生き生きと輝きを見せる紫陽花が好きだといっています、
併せて輝きを見せる人が作者の心にはあるでしょう。

あぢさゐや主の戻らぬ家に咲く 和光市 本橋 昌子

評 園内古民家にも紫陽花が咲く中、かつて生活した人々の姿が
ないことを「主の戻らぬ」と簡潔に表現されました。

佳作

あぢさゐは見る人いやすまはふ花 小平市 門奈 久

日ざらしに水を欲しがる濃紫陽花 八王子市 北 尚子

雨上がり風明るしよ濃紫陽花 府中市 村田のぼる

夏椿幹の肌へも愛でにけり 府中市 山田 節子

雨を呼ぶ紫陽花はまだ薄みどり 府中市 福江 洽一

梅雨晴間土蔵の床に猫いらす 府中市 柿谷 妙子

雨の色あつめてひらく濃紫陽花 東久留米市 矢作 輝

青きかな風とみ空とあぢさゐと 府中市 塩澤登美子

あぢさゐの雫に映る姉の顔 府中市 朝倉波留奈

紫陽花の風の四辻や庚申塔 府中市 芝 喜久子

(敬称略 新漢字・歴史的仮名遣い 順不同)

【榎本 達】昭和二三年東京都府中市生まれ。市村究一郎に師事。

俳人協会会員。